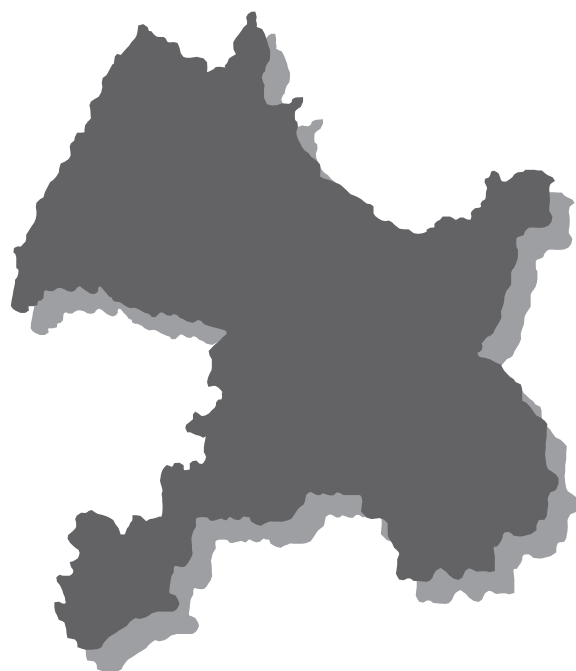


平成20年度
まちづくりアンケート
報告書



平成21年3月
長野市

はじめに

この「まちづくりアンケート」は、市民の皆様のご意見・ご要望をお聴きし、それらを市政に反映させることを目的として、昭和57年度から実施しております。

この調査から得られた結果を十分検討し、よりスピーディーな事務処理、きめ細かな行政サービスに努めるとともに、開かれた市政、対話の市政を展開し、総合的・計画的な行政を進め、市民の皆様と共に個性豊かで活力に満ちた魅力あるまちづくりのために一層努力して参ります。

アンケートの実施に当たり、ご協力いただきました皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今後も一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年3月

長野市長 鷺澤 正一

目 次

1. 調査の概要	6
(1) 調査の目的	6
(2) 調査対象	6
(3) 標本の抽出	6
(4) 標本総数	6
(5) 調査方法	6
(6) 調査期間	6
(7) 回収結果	6
(8) 集計方法	6
(9) 調査項目	7
(10) 地域別回収状況一覧	8
(11) 地域区分図	9
(12) 地域別区分別サンプル構成	9
(13) 性別区分別サンプル構成	10
(14) 年代区分別サンプル構成	10
(15) 職業区分別サンプル構成	10
(16) 居住年数区分別サンプル構成	10
(17) 報告書の見方	10
(18) 標本の誤差	11

2. 調査分析結果	14
がん検診について	14
感染症について	21
男女共同参画について	26
長野市の地域資源のブランド化について	32
ごみ指定袋への記名について	72
路線バス利用について	75
施策の指標	77
行政施策の満足度	82
行政施策の優先度	85
アンケート用紙	89

1. 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

市民の要望を把握するとともに、市の事業や施策について市民の意見・考えを調査し、諸施策推進の基本資料とする。

(2) 調査対象

長野市内に在住の20歳以上の男女

(3) 標本の抽出

住民基本台帳（平成20年10月15日現在）からの等間隔無作為抽出

(4) 標本総数

5,000名

(5) 調査方法

返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

(6) 調査期間

平成20年11月25日（火）から12月10日（水）まで

(7) 回収結果

有効（送達）標本数	5,000通
無効（未送達、返送）標本数	0通
回収標本数	3,292通
回収率	65.8%

(8) 集計方法

電子計算機による集計（委託）

(9) 調査項目

①回答者の属性

- | | |
|----------|---|
| A 地域区分 | 市街地地域、市街地周辺地域、犀南地域、松代・若穂、中山間地域 |
| B 性別区分 | 男性、女性 |
| C 年代区分 | 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上 |
| D 職業区分 | [自営業主および家族従業者]
農業・林業・漁業、工業、商業・自由業
[会社員、公務員]
事務系、公務員・教員、技術系
[その他]
主婦、パート・アルバイト、無職（学生含む）、その他 |
| E 居住年数区分 | 5年未満、5年以上10年未満、10年以上20年未満、20年以上 |

②設問テーマ

がん検診について（長野市保健所 健康課）

「がん対策基本法」が施行となり、国及び県においてがん対策の計画が策定され、がんによる死亡者数の減少のため、がん検診の受診率の向上が重要施策となっている。より多くの市民が「がん検診」を受診するよう、どのような実施方法、広報活動をしていけばよいかを調査する。

感染症について（長野市保健所 健康課）

発生するかもしれない「新型インフルエンザ」や、長野県において患者発生率が全国でも上位になっている「HIV・エイズ」などに対し、どのような認識・意識を持っているのか、また、今後それぞれの理解を深め、身近な問題として積極的に予防に努めてもらえるよう、どのような啓発活動をしていけばよいかを調査する。

男女共同参画について（生活部 男女共同参画推進課）

男女共同参画に関する市民の意識を調査し、今後の男女共同参画行政の推進のための資料とする。

長野市の地域資源のブランド化について（産業振興部 産業政策課）

長野市の特産品をブランド化し、都市イメージの向上を図るため、市民（消費者）の特産品等に対する認知度・好感度等を調査し、ブランド化の可能性を判断するとともに、推進方策等立案に際しての基礎資料とする。

ごみ指定袋への記名について（環境部 環境第一課）

ごみの有料化の説明会において、「記名することにより、ごみの減量となるのでは」との話が多く出ている。ごみ指定袋への記名に対する市民の意識を把握し、今後のごみ減量対策の参考とする。

路線バス利用について（企画政策部 交通政策課）

公共交通である路線バスについて、利用者離れが進み、経営が厳しい路線の再編がなされている。どの程度路線バスを利用しているのか把握し、今後の施策の参考とする。

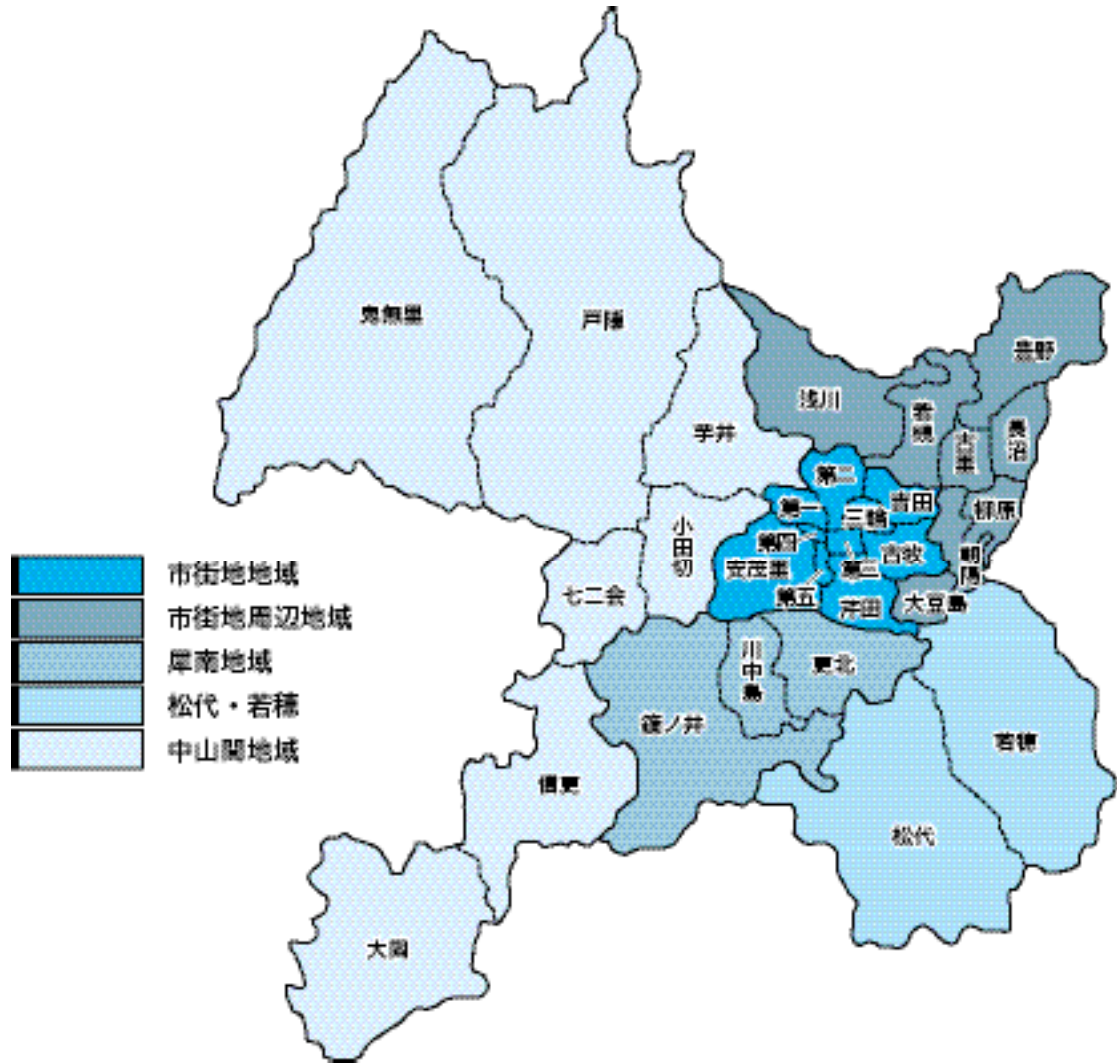
その他（企画政策部 企画課）

行政施策の満足度、優先度等について、継続的に統計をとり、総合計画の指標等に活用する。

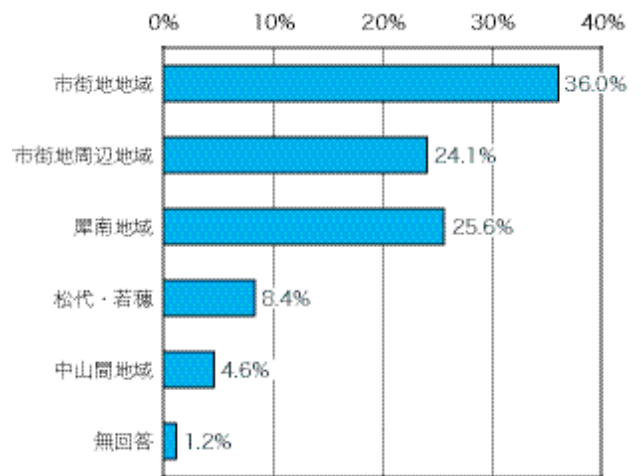
(10) 地域区分別回収状況一覽

		抽出標本数			無効標本数	有効標本数	回収標本数	有効標本回収率
		男性	女性	合計				
市街地地域	第一	29	54	83	0	83	62	74.7%
	第二	81	89	170	0	170	106	62.4%
	第三	68	60	128	0	128	57	44.5%
	第四	19	19	38	0	38	28	73.7%
	第五	25	43	68	0	68	40	58.8%
	芹田	136	171	307	0	307	200	65.1%
	古牧	159	176	335	0	335	193	57.6%
	三輪	122	108	230	0	230	143	62.2%
	吉田	107	119	226	0	226	148	65.5%
	安茂里	140	162	302	0	302	209	69.2%
小計		886	1001	1,887	0	1,887	1,186	62.9%
市街地周辺地域	古里	100	81	181	0	181	106	58.6%
	柳原	41	54	95	0	95	78	82.1%
	浅川	45	55	100	0	100	78	78.0%
	大豆島	80	81	161	0	161	114	70.8%
	朝陽	102	98	200	0	200	131	65.5%
	若槻	138	132	270	0	270	172	63.7%
	長沼	19	16	35	0	35	20	57.1%
	豊野	61	68	129	0	129	96	74.4%
小計		586	585	1,171	0	1,171	795	67.9%
犀南地域	篠ノ井	241	293	534	0	534	340	63.7%
	川中島	178	168	346	0	346	249	72.0%
	更北	197	222	419	0	419	254	60.6%
小計		616	683	1,299	0	1,299	843	64.9%
若穂	松代	112	138	250	0	250	165	66.0%
	若穂	91	82	173	0	173	113	65.3%
小計		203	220	423	0	423	278	65.7%
中山間地域	小田切	10	11	21	0	21	12	57.1%
	芋井	25	10	35	0	35	28	80.0%
	七二会	16	11	27	0	27	22	81.5%
	信更	24	12	36	0	36	22	61.1%
	戸隠	22	37	59	0	59	38	64.4%
	鬼無里	9	16	25	0	25	15	60.0%
	大岡	7	10	17	0	17	14	82.4%
小計		113	107	220	0	220	151	68.6%
不明							39	
合計		2,404	2,596	5,000	0	5,000	3,292	65.8%

(11) 地域区分図

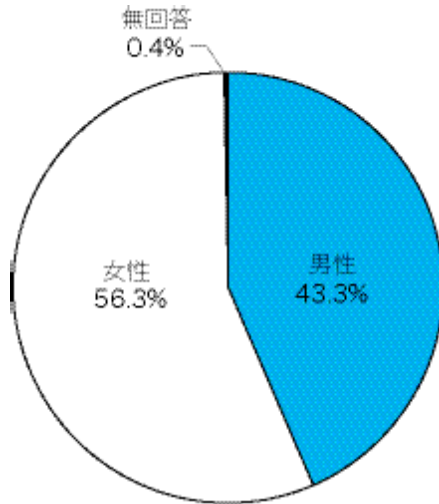


(12) 地域区分別サンプル構成

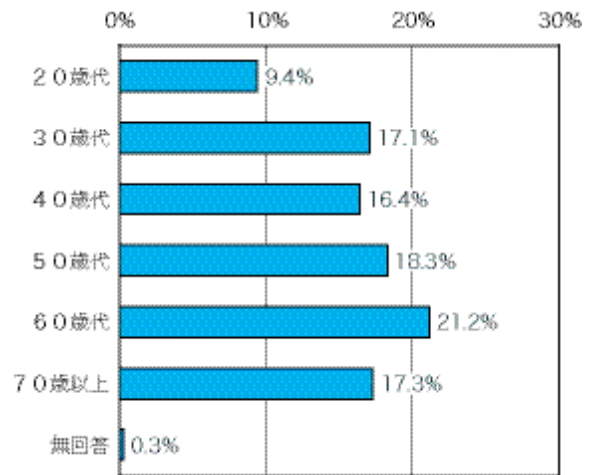


地域区分	地区名
市街地地域	第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、第五地区、芹田地区、古牧地区、三輪地区、吉田地区、安茂里地区
市街地周辺地域	古里地区、柳原地区、浅川地区、大豆島地区、朝陽地区、若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域	篠ノ井地区、川中島地区、更北地区
松代若穂	松代地区、若穂地区
中山間地域	小田切地区、芋井地区、七二会地区、信更地区、戸隠地区、鬼無里地区、大岡地区

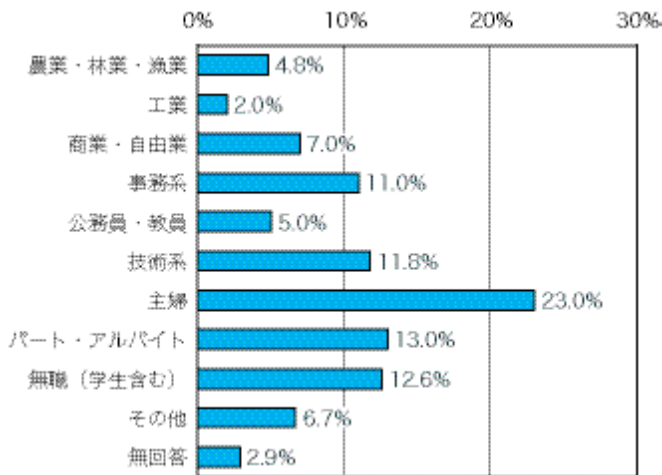
(13) 性別区分別サンプル構成



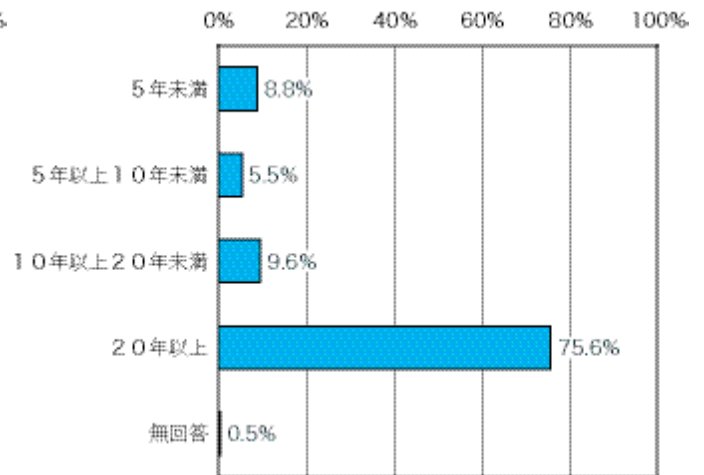
(14) 年代区分別サンプル構成



(15) 職業区分別サンプル構成



(16) 居住年数区分別サンプル構成



(17) 報告書の見方

- ①調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記している。従って、内訳を合計しても100%に合致しない場合がある。
- ②アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を上回る場合がある。
- ③属性別の結果については、特徴的なもの、資料として重要と思われるものについて分析した。なお、属性別にみた図表では、不明サンプルを表示していないため、標本数の合計が全体の標本数と異なる場合がある。
- ④設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合がある。

(18) 標本の誤差

この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度は95%とする。

注) 信頼度95% : 100回同じ調査を実施したときに、概ね95回まではこの精度得られることを示す。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}} \approx 1.96 \sqrt{\frac{P(1 - P)}{n}}$$

ただし、b : 標本誤差 (±少数ポイント)

N : 母集団 (人)

n : 標本数 (人)

P : 回答比率 (少数)

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

回答比率と標本誤差 (信頼度95%の場合)

回答比率 (P) 標本数 n(人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%
3,000	1.07	1.43	1.64	1.75	1.79
2,000	1.31	1.75	2.01	2.15	2.19
1,500	1.52	2.02	2.32	2.48	2.53
1,000	1.86	2.48	2.84	3.04	3.10
500	2.63	3.51	4.02	4.29	4.38
300	3.39	4.53	5.19	5.54	5.66

※上表は $(N - n) / (N - 1) \approx 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注) 表の見方 : 例えば、ある設問の回答者数が1,500人であり、その設問中のある選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.48%ポイント以内 (57.52~62.48%) である、と見ることができる。